

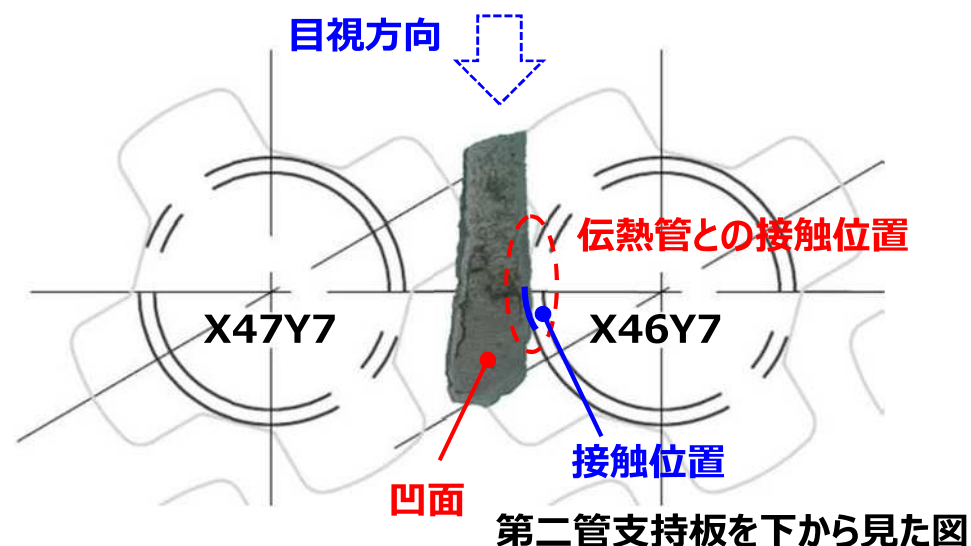
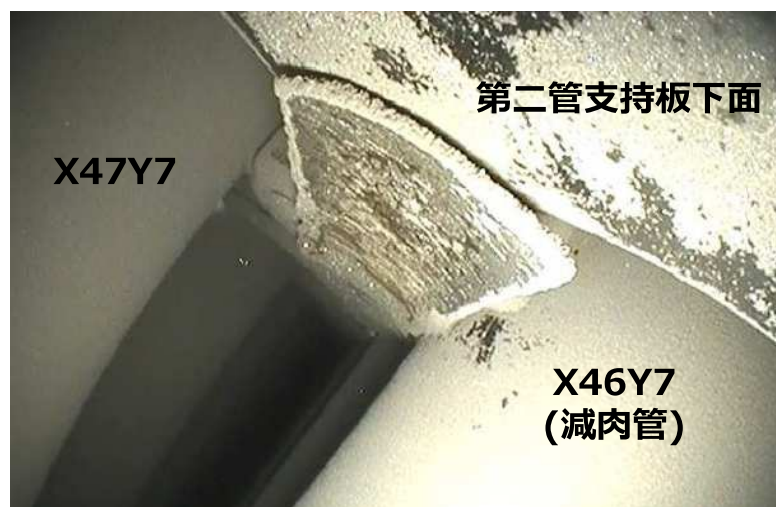
## ① 外観観察結果と伝熱管との接触位置推定

- スケールの形状は円筒状に沿った形状であり、伝熱管の外径に近い形状であった。サイズおよび質量は以下のとおり。



大きさ：約23mm×約7mm  
厚さ：約0.4mm  
質量：約0.2g

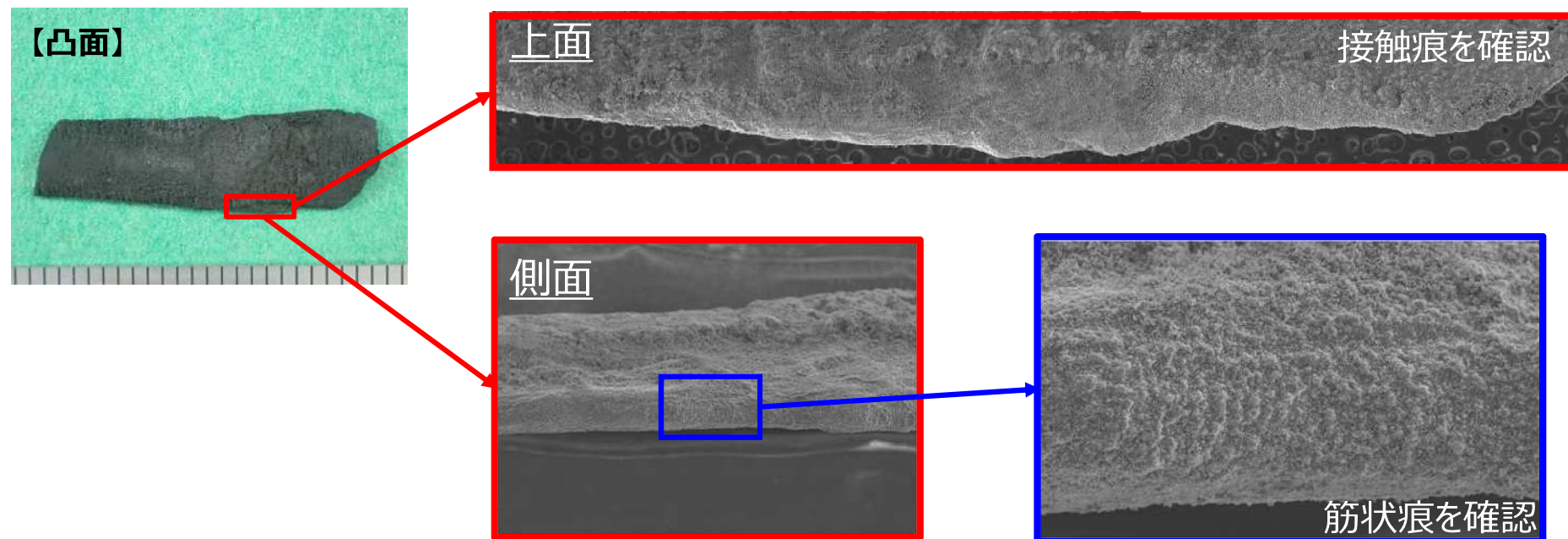
- スケールは、下図のとおり減肉管X46Y7と接触していたことを確認しており、その目視結果から伝熱管との接触位置を推定した。



## 減肉箇所付着スケールの分析結果（2 / 2）

### ② スケール接触部のSEM観察

- 伝熱管減肉部と接触していた箇所に接触痕が認められた。
- 接触した箇所を拡大観察した結果、筋状痕を確認した。



### ③ 成分分析（EDS※1）

- 伝熱管との接触部の表面化学成分を分析した結果、伝熱管（インコネルTT600）の主成分であるニッケル、クロムの成分を僅かに検出した。

※1：電子線照射により発生する特性X線のエネルギーと強度から構成元素を分析する装置